

前期課程 授業科目の内容

社会学概論(1)＜現代社会と女性の生き方＞

社会福祉政策とジェンダー課題、ライフサイクルの変化、女性リーダーの要件、欧米・アジアの女性問題の比較、ボランティアにおける女性の役割、マーケティングにおける女性視点、女性の労働条件、デジタルデバイドと女性、DV政策の変遷と実状、NPOと女性問題、宗教及び文学と女性といったテーマで、担当者の各専門領域からそれぞれ現代社会と女性の生き方について考察する。

社会学概論(2)＜社会学基礎理論＞

現代社会論、社会変動論、マクロ社会学などの講義、演習で言及されるさまざまな概念や論点を網羅的に紹介する。それは学部時代の学習のふり返しであると同時に、受講者各自が「社会」の構造と変容を全体として認識するための見取り図を得る作業の端緒となる。

国際社会論演習Ⅰ(1)(2)

現代の逸脱・社会病理や個人的経験としての生きづらさ、さらにはそれらへの対処の在り方が、各国、各地域の歴史・文化、特定の状況下における対面的相互作用を通じてどう条件づけられ、形成されているかを探る。これらの作業を通じて、現代社会のネットワーク形成に関する課題と可能性を探る。

国際社会論特殊講義Ⅱ(1)(2)

ヨーロッパの都市を事例に、われわれが生きるグローバル化・情報化時代の都市はいかなる変化の様相を呈しているのかを理解し、地域の個性や持続可能性が求められるこれからの都市づくりに必要な考え方・手法とは何かを学ぶ。地理学を中心とした都市・ランドスケープ論を軸としつつ、都市計画・デザイン、都市政策、都市のブランディング、参加と協働(ガバナンス)といった多角的な視点から現代都市を見つめ直すことを目指す。

情報社会論特殊講義Ⅴ(1)(2)

さまざまな企業活動について、事例(ケース)をもとに、詳しく分析、議論する。また、事例を分析するための理論や分析枠組みについても学習する。

情報社会論演習Ⅴ(1)(2)

博物館をとりあげ、高度情報社会における博物館の将来の展望を地域連携、学校連携、マルチメディアの視点から分析、議論するとともに、実際に情報発信手法について学ぶ。

福祉社会論特殊講義Ⅲ(1)(2)

現代社会において拡大している貧困や社会的排除の問題解決を目指して福祉国家政策から福祉社会政策へと大きな転換がされつつある。そのようななかで社会福祉の思想、「対象」、援助方法等を学び、新たな社会福祉学の構築につながる研究方法論を身につける。

福祉社会論演習Ⅰ(1)(2)

日本の社会問題や社会保障・福祉との比較に留意しつつ、中国の社会問題や社会保障・福祉の政策と現実を考察する。各人が自分のテーマで報告し、全員で意見を交換する。

後期課程 授業科目の内容

現代社会論演習(3)

博物館をとりあげ、高度情報社会における博物館の将来の展望を地域連携、学校連携、マルチメディアの視点から分析、議論するとともに、実際に情報発信手法について学ぶ。

現代社会論演習(4)

現代代社会において拡大している貧困や社会的排除の問題解決を目指して福祉国家政策から福祉社会政策へと大きな転換がされつつある。そのようななかで社会福祉の思想、「対象」、援助方法等を学び、新たな社会福祉学の構築につながる研究方法論を身につける。

現代社会論演習(5)

現代社会において拡大している貧困や社会的排除の問題解決を目指して福祉国家政策から福祉社会政策へと大きな転換がされつつある。そのようななかで社会福祉の思想、「対象」、援助方法等を学び、新たな社会福祉学の構築につながる研究方法論を身につける。

現代社会論演習(6)

日本の社会問題や社会保障・福祉との比較に留意しつつ、中国の社会問題や社会保障・福祉の政策と現実を考察する。各人が自分のテーマで報告し、全員で意見を交換する。

現代社会論特殊講義(2)

ヨーロッパの都市を事例に、われわれが生きるグローバル化・情報化時代の都市はいかなる変化の様相を呈しているのかを理解し、地域の個性や持続可能性が求められるこれからの都市づくりに必要な考え方・手法とは何かを学ぶ。地理学を中心とした都市・ランドスケープ論を軸としつつ、都市計画・デザイン、都市政策、都市のブランディング、参加と協働(ガバナンス)といった多角的な視点から現代都市を見つめ直すことを目指す。

現代社会論特殊講義(6)

さまざまな企業活動について、事例(ケース)をもとに、詳しく分析、議論する。また、事例を分析するための理論や分析枠組みについても学習する。

社会学専攻 研究指導内容

指導教員

朝倉 美江

ASAKURA Mie

研究指導内容 社会福祉学、地域福祉論

1. 地域福祉論のコミュニティケア、共生ケア、地域福祉計画に関する研究
 2. NPO論のボランティア、協同組合、社会的企業等についての理論的・実証的研究
 3. 貧困・社会的排除に関して、移民政策や多文化共生社会についての実証的研究
- 研究経歴／東洋大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了。埼玉純真女子短期大学講師、中部学院大学人間福祉学部助教授を経て現職。
- 所属学会／日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、移民政策学会、日本NPO学会。
- 研究業績／『増進型地域福祉への展開－幸福を生み出す福祉をつくる』（編著）同時代社、2022。『多文化共生地域福祉への展望－多文化共生コミュニティと日系ブラジル人』（単著）高菅出版、2017。『コミュニティ・ユニオン社会を作る労働運動』（共著）松籟社、2019。『協同による社会デザイン』（共著）日本経済評論社、2019。その他。

指導教員

岩崎 公弥子

IWAZAKI Kumiko

研究指導内容 教育メディア論、博物館研究、情報社会論

1. メディアを活用した学びに関する実践的研究
 2. 博物館における情報収集・編集・発信に関する研究
 3. インターネットを活用した新しい情報伝達の実践的研究
- 研究経歴／金城学院大学家政学部卒業、同大学大学院文学研究科社会学専攻修士課程修了、名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程単位取得。電気通信大学大学院助手等を経て現職。
- 所属学会／日本教育工学会、日本科学教育学会、情報文化学会。
- 研究業績／「1人1台端末による『開いた授業』の可能性と課題」(論文)2022。『よくわかる社会情報学』（共著）ミネルヴァ書房、2015。『博物館と連携したワークショップの可能性』(論文)2013。

指導教員

王 文亮

OU Bunryo

研究指導内容 社会保障論、社会問題の日中比較

- 国際比較の手法を用いて、とりわけ戦後日本や韓国の辿ってきた道(経験や教訓)を参考に、中国の社会構造や生活と福祉のあり方を検討しつつ、発展途上国が抱えている経済発展と福祉増進のジレンマを多様な角度から見つめ、その新たな可能性を探究する。
- 研究経歴／大阪市立大学大学院文学研究科中国文学専攻博士課程修了。中国社会科学院哲学研究所専任講師、九州看護福祉大学看護福祉学部看護福祉学科助教授を経て現職。
- 所属学会／日本社会福祉学会、社会政策学会、日本地域福祉学会。
- 研究業績／『中国農民はなぜ貧しいのか』光文社、2003。『九億農民の福祉』中国書店、2004。『格差で読み解く現代中国』『現代中国の社会と福祉』（編著）『社会政策で読み解く現代中国』『GDP2位の中国が抱えるジレンマとは何か』ミネルヴァ書房、2006、2008、2009、2014。『格差大国 中国』旬報社、2009。『現代中国社会保障事典』集広舎、2010。『「仮面の大国」中国の真実』PHP研究所、2011。その他。

指導教員

齊藤 由香

SAITO Yuka

研究指導内容 人文地理学、スペイン研究(都市・ランドスケープ)、ワイン地理学

1. ヨーロッパ(とくにスペイン)を対象とした都市・ランドスケープ研究
 2. ヨーロッパ(とくにスペイン)の景観政策に関する研究
 3. ワインをめぐる人と土地との関係性に関する実証的研究
- 研究経歴／名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程修了、名古屋大学大学院環境学研究科助教を経て現職。
- 所属学会／日本地理学会、経済地理学会。
- 研究業績／『スペインワイン産業の地域資源論—地理的呼称制度はワインづくりの場をいかに変えたか—』（共著）、ナカニシヤ出版、2010。『スペイン・カタルーニャの景観政策における景観概念とその具現化—景観を地域としてとらえる思想』（論文）、2021。『土地との結びつきを取り戻すために—スペイン・パナデスのワイン生産者による原産地呼称カバへの対抗—』（論文）、2022。

社会学専攻 研究指導内容

指導教員

大山 小夜

OYAMA Saya

研究指導内容 逸脱・社会問題論、経験社会学、社会調査

1. 多重債務問題にみるグローバル金融市場と消費社会に関する国際比較研究
2. 利他性の社会心理学
3. 専門社会調査士の取得支援

■研究経歴／京都大学大学院文学研究科(社会学)単位取得。専門社会調査士。学術誌「ソシオロジ」編集委員会委員。

■所属学会／日本社会学会、関西社会学会、東海社会学会、社会病理学会ほか。

■研究業績／共著書:『シカゴ学派の社会学』世界思想社、2003。『反貧困の学校』明石書店、2008。『福祉・医療における排除の多層性』明石書店、2010。『個人加盟ユニオンと労働NPO』ミネルヴァ書房、2012。『基礎ゼミ 社会学』世界思想社、2017。『ウォール・ストリート支配の政治経済学』文真堂、2020ほか。

指導教員

小室 達章

KOMURO Tatsuki

研究指導内容 経営学、リスクマネジメント論、「企業と社会」論

1. 組織事故・組織不正研究
2. 非営利組織における不正防止マネジメント
3. 非営利組織における事業承継・後継者育成

■研究経歴／名古屋大学大学院経済学研究科経営学専攻博士後期課程修了、名古屋大学大学院助手、山梨学院大学専任講師、同大学助教授を経て現職。

■所属学会／日本経営学会、組織学会、日本情報経営学会。

■研究業績／「組織不正研究における不正概念の多様性」(論文) 2022。『日本のコレクティブインパクト』(共著) 中央経済社、2022。『NPOにおける事業承継の規定要因』(論文) 2022。『非営利組織における不正の探索的データ分析』(論文) 2023。『非営利組織における事業承継と世代交代』(論文) 2024。

担当教員及び担当授業科目

朝倉 美江 教授 博士(社会福祉学)

ASAKURA Mie

- [D]現代社会論演習(4)
- [M]福祉社会論特殊講義Ⅲ(1)(2)

齊藤 由香 教授 博士(地理学)

SAITO Yuka

- [D]現代社会論特殊講義(2)
- [M]国際社会論特殊講義Ⅱ(1)(2)

小室 達章 教授 博士(経済学)

KOMURO Tatsuki

- [D]現代社会論特殊講義(6)
- [M]情報社会論特殊講義Ⅴ(1)(2)

岩崎 公弥子 教授 博士(学術)

IWAZAKI Kumiko

- [D]現代社会論演習(3)
- [M]情報社会論演習Ⅴ(1)(2)

大山 小夜 教授

OYAMA Saya

- [D]現代社会論演習(5)
- [M]国際社会論演習Ⅰ(1)(2)

時岡 新 教授(兼任)

TOKIOKA Arata

- [M]社会学概論(2)

王 文亮 教授 博士(文学) 博士(社会福祉学)

OU Bunryo

- [D]現代社会論演習(6)
- [M]福祉社会論特殊講義Ⅰ(1)(2)

[D]後期課程授業科目 [M]前期課程授業科目